

[成果情報名] 黒色防鳥糸による魚食性鳥類の飛来防止効果

[要約] 黒色防鳥糸の設置により、魚食性鳥類の飛来数が激減し、養殖場における食害を防止できる。

[担当] 山梨県水産技術センター・増殖スタッフ：谷沢弘将

[分類] 技術・参考

[課題の要請元]山梨県漁連

[背景・ねらい]

養殖場における魚食性鳥類の被害は甚大で、その軽減技術の開発が求められている。圃場において効果の認められている黒色防鳥糸を用いて、養魚池における飛来防止効果について検討を行う。

[成果の内容・特徴]

1. 黒色防鳥糸の設置により、魚食性鳥類であるゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、カワウの飛来数が激減し、飛来防止について高い効果が認められる（図1、2）。
2. 黒色防鳥糸は、防鳥網等の物理的防除に比べ省コストでメンテナンスも簡単であり、キラテープ等の忌避効果による防除に比べ、効果が持続的であることから、実用性が高いと考えられる。

[成果の活用上の留意点]

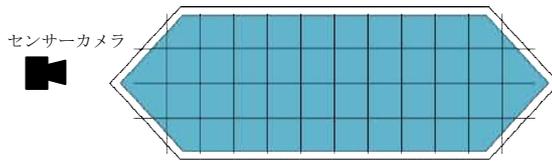
黒色防鳥糸による防除効果についてはカワウについては事例が少ない。効果的で作業性の良い間隔・高さ・範囲についての検討が必要である。

[期待される効果]

養殖池における魚食性鳥類の被害が軽減される。

[具体的データ]

2014年 2m間隔格子状 (H=175cm)、側面(H=20&50cm)



2015年 2.5m間隔スリット状 (H=175cm)、側面(H=20&50cm)

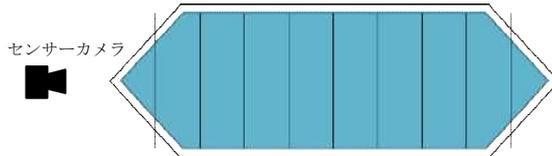


図1 2014年及び2015年の防鳥糸設置状況 (池面積 180 m²、コイ 100kg 収容)

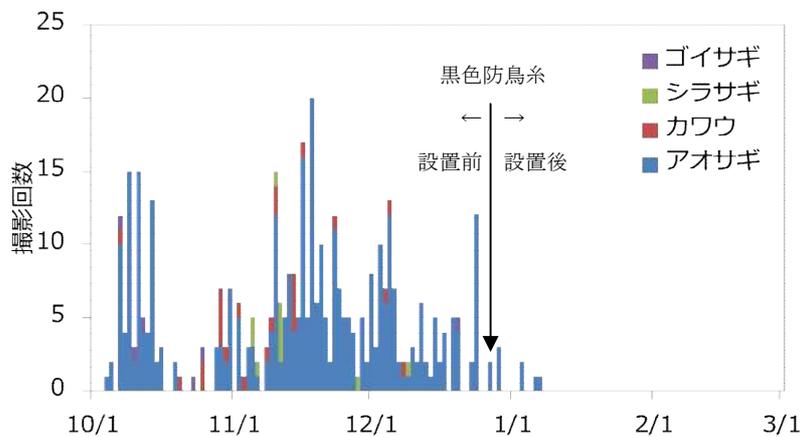


図2 黒色防鳥糸設置前後の魚食性鳥類の撮影回数 (2014年)

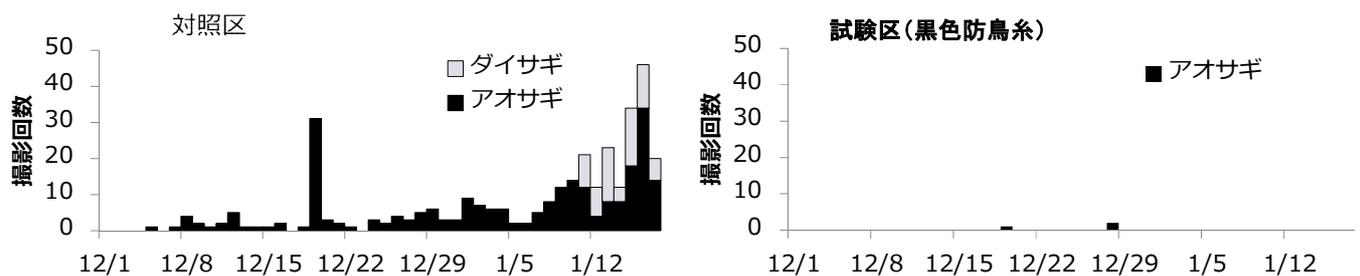


図3 黒色防鳥糸設置区と対照区の魚食性鳥類の撮影回数 (2015年)

[その他]

研究課題名：カワウ対策に関する研究

予算区分：県単

研究期間：平成25年から平成27年度

研究担当者：谷沢弘将